

新たな息吹を生み出す ものづくりの街から

イワムラ紙工が位置する元浅草は、
古くからものづくりが盛んな地域です。
近年、徒蔵（御徒町・蔵前地区）^{かちくら}と呼ばれ、
若きクリエイターの活動と共に、
新たなものづくりの拠点として注目されています。



イワムラ紙工がある元浅草って？

イワムラ紙工は台東区のほぼ中央、旧町名 浅草永住町にある。この永住町は池波正太郎さんが小学生の頃育った街で、彼のエッセイ等で度々登場する伝統工芸を作る職人さんがひっそりと暮らす街でもある。彼らが言うには「伝統工芸？馬鹿言っちゃいけねえぜ！これしかできねえんだ！」って、口は悪いが、心優しい愛すべき人たちがばかりだ。

毎年6月には鳥越神社のご祭礼が賑やかに催行され、浅草橋から浅草までが祭り一色に染まる。暴れ千貫神輿の異名を持つ御本社神輿は、氏子22ヶ町を隈なく渡御され「鳥越の夜祭り」でクライマックスを迎える。それが終わる頃、静まりかえった街にポツリポツリと雨が落ちはじめ長く暑い夏がはじまる。